

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

### 〈試料・情報の利用目的及び利用方法〉

#### ●研究の名称

感染症専門医および AST 専従薬剤師不在病院における連日 AST 活動の有用性の評価

#### ●研究の対象

2012年1月1日から2024年3月31日に京都第二赤十字病院において、血液培養から細菌が検出された5,714例の患者さんを対象とします。

#### ●研究の目的

抗菌薬適正使用支援チーム（Antimicrobial Stewardship Team：AST）による介入は、抗菌薬治療の質向上に寄与することが知られていますが、その活動頻度が臨床アウトカムに及ぼす影響については十分に検証されていません。そこで今回、感染症専門医および AST 専従薬剤師が不在である当院において、AST の連日活動が臨床アウトカムに与える影響を後方視的に検討することとしました。

#### ●研究の期間

実施許可日から2027年3月31日まで

#### ●研究の方法

日常診療時に得られる下記の〈利用する試料・情報の項目〉について調査します。

### 〈利用する試料・情報の項目〉

#### ●試料：なし

#### ●情報：年齢、性別、基礎疾患、ICU入室の有無、入院期間、転帰、抗菌薬投与歴、血液培養結果、AST介入の有無、Pitt Bacteremia Score

なお、利用する上記の試料・情報からは患者さんを直接特定できる個人情報削除します。

### 〈利用を開始する予定日〉

研究機関の長の実施許可日

### 〈利用する者の範囲〉

#### ●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院・薬剤部・医薬品情報管理課・課長 澤田 真嗣

≪試料・情報の管理について責任を有する者の名称≫

京都第二赤十字病院 院長

≪試料・情報の利用の停止（受付方法含む）≫

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の≪問い合わせ先≫にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

≪問い合わせ先≫

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：薬剤部・医薬品情報管理課・課長 澤田 真嗣

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）